

# 大学の学修環境向上に向けた情報活用と意識改革

A班-3(トビウオ)

## テーマの背景となる問題意識

社会が求める人材を大学側が育成できていない。

※社会が求める能力      参考：学士力

【知識】▽異文化の理解 外国などの文化を理解する

▽社会情勢や自然、文化への理解、人類の文化や社会情勢などを理解する

【技能】▽コミュニケーション能力 日本語、特定の外国語で読み、書き、聞き、話すことができる

▽情報活用力 インターネットなどの多様な情報を適切に使い、活用できる

▽論理的思考力 情報や知識を分析、表現できる

【態度】▽チームワーク、リーダーシップ 他者と協力して行動したり、目標実現のために方向性を示せる

▽倫理観 自分の良心や社会のルールに従って、行動できる

▽生涯学習力 卒業後も自ら学習できる

【創造的思考力】知識、技能、態度を総合的に活用し、問題を解決することができる

参考：「学士力」中央教育審議会

## 問題解決に向けてのアプローチ①

---

仮説:大学に対する満足度を高める。

大学に対する満足度が高い学生は、意欲も高く、貪欲にいろいろなものを学んでいるのではないだろうか

※満足度を高めるための評価指標

- 学生側からの声

大学生活が充実・楽しいものであるか  
希望する進路に進めたか  
やりたい勉強ができたか  
自分が成長できたか ...etc

- 社会側からの声

大学出身者が意欲的に仕事をしているか  
結果を出しているか、活躍しているか ...etc

---



## 問題解決に向けてのアプローチ②

---

大学として「満足度を高める」ために考えられる  
具体的な取り組みとしては、

- 大学の学修や様々な活動に積極的に参加してもらう
  - それにあたっての情報提供を活発に行う推進をする
  - 学生の学修状況を把握し、問題があれば、解決支援できる環境を作る
- 
- 

## 問題の具体的な解決案 ①

---

### 1. 少人数クラスの増設

- ▶ 少人数参加型の授業を推進・拡充する。
- ▶ ゼミ担当を担任のように接してもらい、学生の学修状況や不安・悩みなどを相談できるようにする。また、職員がそれらの相談にフォローする役割を担う。
- ▶ 代返も減り、授業に参加できるようになる。

#### [課題]

教室不足や、人員の不足をどのように解消するか

---

▶

## 問題の具体的な解決案 ②

---

### 2. 学生からの要望を広く情報共有し、解決を図る

- ▶ 学生からの問い合わせを縦割りで対応せず、まずどの部署でも受付できるようにする
- ▶ 学生からの要望を共有し、他部署でも見られるようにする。
- ▶ 要望に対応する部署は、主体的に解決を図る。他の部署と協業して進める必要がある場合は、主体的に対応する。

#### [課題]

教職員が要望を共有し、主体的に取り組む意識を醸成できるかどうか

---

▶

## 問題の具体的な解決案 ③

---

### 3. 学生向けの掲示板(情報ポータル)を作成し、総合的に情報を学生に提供する。

- ▶ 授業情報、学生生活情報、就職情報などを総合的に掲載し、学生にまず見てもらうような情報ポータルをつくる。
- ▶ ゼミや、サークル、部活などを通じ、情報ポータル周知を行う
- ▶ ゼミや、サークル、部活などのホームページなどにリンクを設ける。それぞれのリンク先の情報を更新してもらう(情報発信を継続)
- ▶ 必要な情報を選択し、メールで配信できるようにする。

#### [課題]

継続的な情報の更新や、周知をどのように行っていくか。

ポータルの構築をどう実施するか(構築コスト、関連部署の連携)

---

## 結論

---

▶ 情報活用において、システムを使う・つくっただけというわけではなく、それを生かすには、人の努力が必要である。

▶ 大学を運営する教職員の意識改革が必要である。

---

## 付録

### テーマ設定の過程で出た問題点

- 学生の要望にたいして大学側が応えられていない
  - 要望をきちんと吸い上げていない(気まぐれで受けれている状況がある)
- 教員や職員は自分の範囲での仕事しかできていない(意識がない)
  - 教員：自分の範囲のことしかしない
  - 職員：同じ部署に長くとどまる、同じような仕事をしている人が多い
  - 地区・部署を超えた情報の共有が遅い、または、あまりできていない。
- 学生との大学側の関係が希薄になっている
  - 学生に情報を広報してもあまり伝わらない。
- 教職員で情報連携が悪い(情報の遅滞)、学生との連絡も取りづらい
  - 部署を超えた情報のやり取りが遅い、できない
  - 職員も部署内の情報どこにあるかわからない、そもそもない。